

「新しい前進」

会長 三品 優次



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2886回 例会
プログラム
新入会員卓話
No.2714 8月7日(木)

次週以降の予定
8月14日(木) 休会
8月21日(木) 創立記念例会(夜間)
8月28日(木) 尊厳死について

第2885回 例会報告

2014年 7月31日(木)

会長挨拶・報告



昨日猛暑の東京へ日帰り出張をして来ました。新橋駅でTV局の取材の横を通りましたが、34℃を示す温度計がありました。駅から300mくらい歩きましたが、頭から汗が噴き出しシャツが汗まみれになりました。気象庁が当初この夏エルニーニョ現象が発生し冷夏になると予測していましたが、太平洋上の強い東風により状況が変わり秋頃にペルー沖の海水温度が上昇し、エルニーニョ現象が発生する可能性が大きいという表現に変化しています。日本の暦では、7月29日が「土用丑の日」でした。次の丑の日は8月3日です。夏バテ解消にはウナギが最適食品といわれていますが、このウナギが国際自然保護連合から絶滅危惧種に指定されました。ウナギも回遊魚の仲間、成長段階で生息場所を移動しています。回遊魚に4タイプがあります。ヒラメのように浅い場所と深い場所を往復するタイプ、マグロ・かつお・イカのように海の中だけを回遊するタイプ、そしてアユ・サケ・マス類のように繁殖のため川に戻るタイプ。ウナギは4年から10年川で育ったあと産卵のためガム島西側の西マリアナ海嶺まで戻ることが10年くらい前に判明しました。海で生まれたウナギの幼魚は半年の時間をかけ、シラスウナギとなり黒潮に乗り、生後1年頃に日本・台湾・中国・韓国など東西アジアの沿岸に集まり川を上りますが、サケ・マス類と違い、上る川は海流次第だといわれています。やっと河口にたどり着いたシラスウナギですが、ここで養殖に使う稚魚として乱獲し、川を遡るシラスウナギが激減することで、絶滅危惧種の指定を受けました。そこで、中央・東京・九州・北里大学と環境省で今年から謎の多いウナギの調査が始まりました。早くウナギの生息に適した条件を見つけ、いつまでもウナギを食べられる食文化が残ってほしいと思っています。

幹事報告



1. 芦別・砂川・留萌RCより8月の例会プログラムが届いております。
2. 上期会費納入期限は本日までとなっておりますが、お忘れの方は早めにお振り込みくださいますようお願いいたします。
3. 既にFAXでお知らせ済みですが、来週8月7日(木)は第8回定例理事会を開催致します。役員・理事の方は予定に入れて下さい。
4. 10月の地区大会登録のご案内が参りました。第一メ切が8月18日です。9月1日までは変更を

受け付けますのでお願いします。特に入会3年未満の会員さんは、是非出席のご登録をお願いいたします。

委員会報告・会員情報

親睦委員会

創立記念例会のご案内です。8月21日(木)夜間例会として午後6時より三浦華園で開催いたします。

柳 清二 会員

MOA美術館の案内がありました。



先週のプログラム

《情報委員会担当例会》

～ゲスト卓話～



情報委員会 佐藤 佳朗 委員長

佐々木先生は、昭和38年から滝川商業高校に勤務され、平成12年秩父別高校で退職されました。平成13年に体協の理事に就任され、コスモスマラソンの実行委員長を10度務められております。それでは宜しくお願い致します。

「2014 たきかわ

コスモスマラソンについて」



滝川市体育協会理事

たきかわコスモスマラソン実行委員長
佐々木 義昭 様

皆様、こんにちは。

ただ今、ご紹介戴きました滝川市陸上競技協会の佐々木で御座います。昨年の3月28日に続き2度目になりますが、この場に立たせて戴いたことに感謝申し上げます。

昨年の「第25回記念、たきかわコスモスマラソン2013」大会会場を変更し、滝の川公園の新コースで開催となり、大雨の中でのスタートとなりました。皆様から戴いたスタッフジャンパーは雨具としても活用され大好評でした。これからも大切に使用させて戴きます。篤くお礼申し上げます。「様々なハプニングもあったり、まずい部分も出てきてはいましたが、ゲストラナーの千葉真子さんに助けられた部分と、何よりも風が無かったことが幸いしてくれた大会であったと思っております。

さて、今年の「たきかわコスモスマラソン2014」ですが、昨年10月の実行委員会の反省点とランナーのアンケートの意見集約を基に、4月18日にオブザーバーとして、滝川警察署・道路管

理事務所さんをお迎えし第1回実行委員会を開催し、大会要項を決定(開催日：9月7日の日曜日)(会場：滝の川公園)致しました。コース図面をご覧頂きながらお話をさせていただきます。暫今年度大会コースの改善について…

- (1) ハーフマラソンと10kmにおけるスタート直後の混雑
→前年度のハーフ・10km同時スタートを時間差スタートに変更とスタート直後の折り返しを無くしました。
 - (2) 沿道住民の理解を得られず、交通規制の実施に支障のあった3丁目通ふれ愛橋周辺
→3丁目通を使用しないコース設定変更しました。
 - (3) 朝日町東、黄金町東地区の四方を交通規制により囲まれてしまう地域の解消
→東一号通を使用してた5kmコースを、国道12号線で折り返すコースに変更。
 - (4) 3丁目通における滝川→←新十津川大和の経路確保
→平成橋滝川側の公道を使用せず、その下のアンダーパスを通過して河川敷(堤防)の出入りすることによって確保する。
 - (5) 公園の中をコースとして有効的に活用
→親子マラソン(1km)・3km(12号線折返)・5km(12号線折返)の後半を走行させる。
- 以上、コース上の改善点を申し述べ、たきかわコスモスマラソンのPRに替えさせて戴きます。



エピソード (2020年東京オリンピック開催決定) 幻を入れると3回目(56年ぶり)
オリンピックとマラソンに「まつわる」古い話です。ご存知の方も多いと思いますがお聞き下さい。

1. オリンピックのマラソンに日本が初参加したのは第5回1912年(明治44年)
ストックホルム大会(金栗四三 途中棄権 40.2km) 42.195km第8回パリ1924パリ大会より
2. 第18回オリンピック 東京開催1964年(昭和39年)
アベベの優勝タイム(2時間12分11.2)
円谷幸吉 初の銅メダル獲得(2時間16分22.8)
8位 君原健二(2時間19分49.0)、15位 寺沢徹
3. 現在合宿練習の定番となっている高地トレーニングの基になったのは、第19回オリンピックメキシコ大会に向けて日本陸連の方策として開催国の標高にあわせた高地トレーニング合宿を行う。代表選手選考で候補者の中で高タイムを出せていなかった君原健二を抜擢し、見事銀メダル獲得した背景には、高地馴化に優れた才能があったことが後になってわかることとなる。(僕はなぜ走るのだろう) 自叙伝
優勝タイム エチオピアのウォルデ(2時間20分26.4)
君原健二(2時間23分31.0)、宇佐見彰朗9位(2時間28分台)、佐々木精一郎(途中棄権)
馴化→ 赤血球の増加により酸素の運搬能力が高くなる。
むすび

いよいよ今年も「たきかわコスモスマラソン2014」9月7日開催の運びとなります。国道12号線を使用する関係もあり、ボランティアスタッフの増員もしなければなりません。皆様方にご支援とご協力を度重ねてお願いし、おわりに成りましたが、「滝川市ロータリークラブ」様の今後益々のご発展をご祈念申し上げ、話を終了させて戴きます。有難うございました。

ニコニコBOX

- 三品 優次会員
皆様のおかげで早くも1ヶ月が終了いたしました。有難うございます。
- 佐藤 佳朗会員
担当例会無事終えて。コスモスマラソン宜しくお願いします。
- 柳 清二会員
第26回MOA美術館滝川・新十津川・雨竜 児童作品展の紹介をさせて頂いて。宜しくお願い申し上げます。
- 和作 康市会員
旗の波に参加していただき有難うございました。来月28日も宜しくお願いします。
- 近藤 正孝会員
委員長、所用の為代記させていただきます!!

会長／三品 優次
幹事／深澤 和範
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。